

政策研究センター リサーチ・プロジェクト 成果報告書

提出日: 2020/2/28

申請者(リーダー): 氏名 河野 元子 職名 助教授

リサーチ・プロジェクト名:

(和文) アジア新興国の高付加価値化をめぐる現代的課題

(英文) Asia's Emerging States toward Upgrading : Opportunities and Challenges

期間(yyyy/mm/dd): 2019/4/1 から 2020/3/1 1年間

共同研究者:	氏名	職名	所属機関・部局名	(備考)
共同研究者1	恒川 恵市	客員教授	政策研究大学院大学	
共同研究者2	Khoo Boo Teik	教授	政策研究大学院大学	
共同研究者3	Intarakumnerd, Patarapong	教授	政策研究大学院大学	
共同研究者4	Kanchoochat, Veerayooth	准教授	政策研究大学院大学	
共同研究者5	岡部 恭宜	教授	東北大学	

リサーチ・プロジェクトの目的

本研究は、独自の領域を確立しつつある「新興国研究」に寄与することを最終目標として、アジア新興国を対象に、1) 成長著しい新興国のこれまでの発展にはどのような特色があるのか、2) 持続的経済成長のためにこれから必要な技術力を新興国が獲得する上で直面する課題は何か、という問いを研究課題として設定している。とくに、中国の台頭と東南アジア新興国への投資、グローバル経済の変動という外的要因に対して、各国官民は経済停滞から脱却すべくどのような高付加価値化の対応を行っているのか、企業や労働の技術能力向上の政治・社会的条件を考察する。

研究成果の概要(800字程度):

本年度は、複数年かけて行う本研究の2年目であった。1) 国際会議、学会・研究会などとおして、関連分野とくに若手研究者の発掘また内外のネットワーク構築の拡充、2) 今後の具体的な課題として、より政治・社会的分析に注力する必要性があることに行きついた。具体的な成果は以下の通りである。

(1) 人材発掘およびネットワーク構築の拡充: 代表者は、昨年度につづき天然資源型産業の発展可能性に焦点をあてつつ、より政治的・社会的条件について研究を進めるとともに、国内外の学会、会議において報告する一方、参加者との意見交換を進め、人材発掘および当該分野のネットワークづくりを活発に行った。共同研究者は、個々の専門分野、例えば、高付加価値化、中国の経済戦略と新興国、国際関係の視座から本研究の課題に新たな視座から取り組んだ。一方で、国際会議やワークショップに参加し、人材発掘(とくに若手研究者)およびネットワーク構築を拡充させた。その結果の一部として、2019年11月29-30日GRIPSにおいて、国内外からの若手研究者の招聘および国内の研究者と、東南アジア新興国の政治と経済の相互作用を考えた国際ワークショップを開催した。

(2) 分析視座の再検討: 諸活動とおして、本課題に応えるための新たな視座として、より政治・社会的分析に注力する必要性が明らかになった。上記の目的で示した研究課題では、新興国の発展の特質と持続的経済成長のためにこれから必要な技術力を新興国が獲得する上で直面する問題を問うている。研究チームは、とくに経済発展のメカニズムと歴史、および経済発展と政治体制との関係について成果をあげてきたが、政治的・社会的側面についての分析が不十分であること、この部分の解明が課題に応えるために不可欠であることが共通認識された。

研究成果:

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

※政策研究センターのリサーチ・アシスタント(RA)雇用に採択されたプロジェクトについては、RAを雇用したことによって得られた研究成果(例: RA氏名が記載された①論文発表、学会発表など。予定も含む。)を必ず記載してください。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

成果報告書(研究成果一覧)

研究成果一覧:

(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)
(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。)等掲載)

※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。

※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

著者	4# 標題	雑誌名 /所収図書の名・図書名・ 出版者等	巻・号 /章・節	発行年	開始 ペー ジ	終了 ペー ジ	2 査読 (有=1)	0 国際共 著 (yes=1)	DOI	0 オープン アクセス (yes=1)
1 Khoo Boo Teik	'China's Belt and Road Initiative: A View from the Mahathirist Imaginary'	<i>Singapore Economic Review</i>		2019	1	-20	1		10.1142/S0217590819410030	
2 Intarakumnerd Patarapong	'Industrialisation, Technological Upgrading, and Innovation,'	<i>Handbook of Contemporary Thailand</i> , edited by Chachavalpongpun, Routledge		2019	214	-225				
3 Huang Y and Intarakumnerd P.	'Alternative technological learning paths of Taiwanese firms'	<i>Asian Journal of Technology Innovation</i>	27(3)	2019	301	-314	1		10.1080/19761597.2019.1678390	
4 Keiichi Tsunekawa	"Globalism, Nationalism, and Regional Order in Asia: A Japanese Perspective"	book chapter		2020		-				
5						-				

図書:

※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。

※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

著者・編者	0# 図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1				
2				
3				
4				
5				

口頭報告・学会発表等:

※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。

※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

報告者等	4# 標題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1 Intarakumnerd P.	Technological Learning and Innovations of Manufacturing Firms in Selected ASEAN Countries: An Implication for Future Collaboration with Taiwan	Conference on Industrial and Economic Development Challenges (招待講演)	2019年5月31日	Taipei, Taiwan
2 Khoo Boo Teik	Malaysia: 20 years of dissent, a moment of democracy	AAS-IN-ASIA Conference	2019年7月1日	Bangkok, Thailand
3 Khoo Boo Teik	Moral Ambivalences in the Making of Anwar Ibrahim's Humane Economics	GRIPS International Workshop	2019年11月29日	GRIPS, Tokyo, Japan
4 Motoko Kawano	Upgrading Resource Based Industry in Post-Crises Southeast Asia : Learning from Rubber industry in Malaysia and Thailand	International Seminar 'Sustainable Economic Development in 'Turbulence' (招待講演)	2020年1月31日	Brawijaya University, Malang, Indonesia

5